

## インフルエンザの流行について

平成21年11月10日

健康増進課 松山 (4516) 0742-22-1101	氏平 (4519)
---------------------------------------	--------------

インフルエンザの流行が本格化し、国立感染症研究所が全国約5000医療機関を対象に行っている定点調査で、10月26日から11月1日の1週間に新たに受診したインフルエンザ患者が、1医療機関当たり全国平均33.28で警報レベルの30人を超え、本県においても、22.85と前週の17.8から増加しています。

今後、さらに大きな流行が予測されますので、県民の皆様はご注意ください。

また、厚生労働省の11月5日の発表では、新型インフルエンザに感染して死亡した者は47名で、うち1歳～14歳の小児が11名、11名中8人は基礎疾患のない健康な小児です。

本県においても、10月26日から11月1日までの1週間の入院患者は38人のうち1歳から14歳が34人と小児が約9割となっています。また、34人中29人が基礎疾患のない小児でした。

県としては、県民に対して適切な外来診療のお願いを行うとともに、小児に対するワクチン接種時期の前倒しについて検討を行っています。

### ○ 県民への呼びかけ (適切な外来診療のお願い)

受診の際は、必ず、予め電話をして、マスク着用の上、お出かけください。喘息等の慢性呼吸器疾患や人工透析中の方など基礎疾患のある方並びに妊娠中の方などは、重症化するリスクが高いため、あらかじめかかりつけ医と相談しておき、インフルエンザ様症状がみられたときは、すみやかに医療機関を受診して下さい。

また、もともと健康な方でも、次のような症状を認めるときは、重症化する可能性がありますので、すみやかに医療機関を受診して下さい。

#### ●小児の場合

呼吸が速い、息苦しそうにしている、顔色が悪い(土気色、青白い等)、おう吐や下痢が続いている、落ち着かない、遊ばない、反応が鈍い等

#### ●大人の場合

呼吸困難または息切れがある、胸の痛みがつづいている、おう吐や下痢がつづいている、3日以上発熱がつづいている等

本県においても休日、夜間応急診療所への患者が増加しており、1時間半から2時間ほどの待ち時間となっています。休日、夜間においても、重症化のリスクが高い人たちがすみやかに受診できますよう、熱や咳、のどの痛みなどの症状があっても軽症の方はできるだけ、昼間の診療時間内に受診していただくよう、ご協力をお願いします。

また、県では、市町村、医師会、薬剤師会と連携協力して、開業医の診療時間の延長や休日診療など外来診療体制の拡充を図っております。

休日や夜間の外来診療体制や感染予防対策や自宅療養の方法など、新型インフルエンザ関連情報は、次のホームページで掲載しています。

奈良県のホームページ [新型インフルエンザ対策](#) > [最新情報](#) > [県民のみなさまへ](#)  
厚生労働省のホームページ [健康](#) > [感染症情報](#) > [新型インフルエンザ](#)

○ 小児に対する新型インフルエンザワクチンの接種時期について

現行のスケジュールでは、1歳～小学校3年生までの者には12月中旬からの接種となっておりますが、最近の患者の発生状況を考慮して、スケジュールの前倒しを検討しています。

国からのワクチン供給量が限られている中、いかに効率的、効果的にワクチン接種を行うかの観点から検討を行っています。